

# 2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第47話 (R04.03.22)

## ～ あさっては、卒業式です ～

みなさんは、「卒業式」と聞くと、どのような言葉を思い浮かべるでしょうか。少し考えてください。

昔、何人かの先生に聞いてみました。ある先生は、「学校で一番大事な行事である。」と答えました。私も一番大事であると思います。なぜ、一番大事であると思いますか。

**卒業式は、小学校6年の全課程を修了したと認めた児童に、卒業証書を授与する式だからです。**

他の先生は、「けじめをつける。」と答えました。それは、どのようなことであると思いますか。

**卒業生一人一人に、小学校の6年間を振り返らせ、喜びを感じたり苦しみを乗り越えたりした自分の力を感じて、新たなるステージに力強く勇気を持たせることであると思います。**

また、私は、「感謝の気持ちを伝える。」ということであると思います。自分と関わりのあった人に言葉、態度、姿勢などで気持ちを伝えて欲しいです。

小学校最後の式に見せるきちんとした態度、卒業証書授与の返事、最後に歌う歌などで、しっかり伝えてほしいです。

特に、自分をここまで育ててくれた感謝の気持ちを表現してもらいたいと思います。みなさんと関わった方々は、みなさんの成長した姿を見たいと本気で思っているはずです。

だから、一人一人が立派な態度で100%の力を出し切って望んで欲しいと思います。全員が一瞬一瞬の動きまで大切に、卒業式参加者から「立派に成長したな。」と思われる式であって欲しいと心から願っています。

最後だから、あさっては、晴れの卒業式がいいなあ。